

令和5年酒田港の取扱貨物量について（速報値）

概 要

酒田港の令和5年取扱貨物量は、外貿貨物（輸出入）が1,839,472トン（前年比-12.3%）、内貿貨物（移出入^{※1}）が855,738トン（前年比-13.9%）、全貨物量が2,695,210トン（前年比-12.8%）となった。

コンテナ貨物量（実入りコンテナ）は、輸出入合計が9,297TEU^{※2}（前年比-32.4%）となった。また、コンテナ取扱個数（空コンテナ込）は、輸移出・輸移入合計が14,261TEU（前年比-35.3%）となった。

リサイクル貨物量は、輸移出・輸移入合計が335,147トン（前年比-21.0%）となった。

酒田港国際ターミナル

令和5年取扱全貨物量の概要

- ・・・別紙参考資料-1

令和5年コンテナ貨物量の概要

- ・・・別紙参考資料-2

令和5年リサイクル貨物量^{※3}の概要

- ・・・別紙参考資料-3



※1 「移出」：貨物を国内の他の地域へ送り出すこと。「移入」：貨物を国内の他の地域から移し入れること。

※2 「TEU」：20フィートコンテナ換算のコンテナ取扱量の単位。40フィートコンテナ1個は2TEU。

※3 平成15年に酒田港は、国土交通省から、生産や消費活動で排出されたものの輸送の拠点となる総合静脈物流拠点港（リサイクルポート）の指定を受けた。

令和5年取扱全貨物量の概要

取扱全貨物量については、グラフ1のとおり、外貿貨物が1,839,472トン(前年比-12.3%)、内貿貨物が855,738トン(前年比-13.9%)、合計が2,695,210トン(前年比-12.8%)となった。

上位5品種については、表1のとおり、全品種において前年比で減少した。

「石炭」が全体の55.2%を占めており、また、上位5品種で酒田港全貨物量の79.9%を占めている。

グラフ1 過去5年間の全貨物量の推移

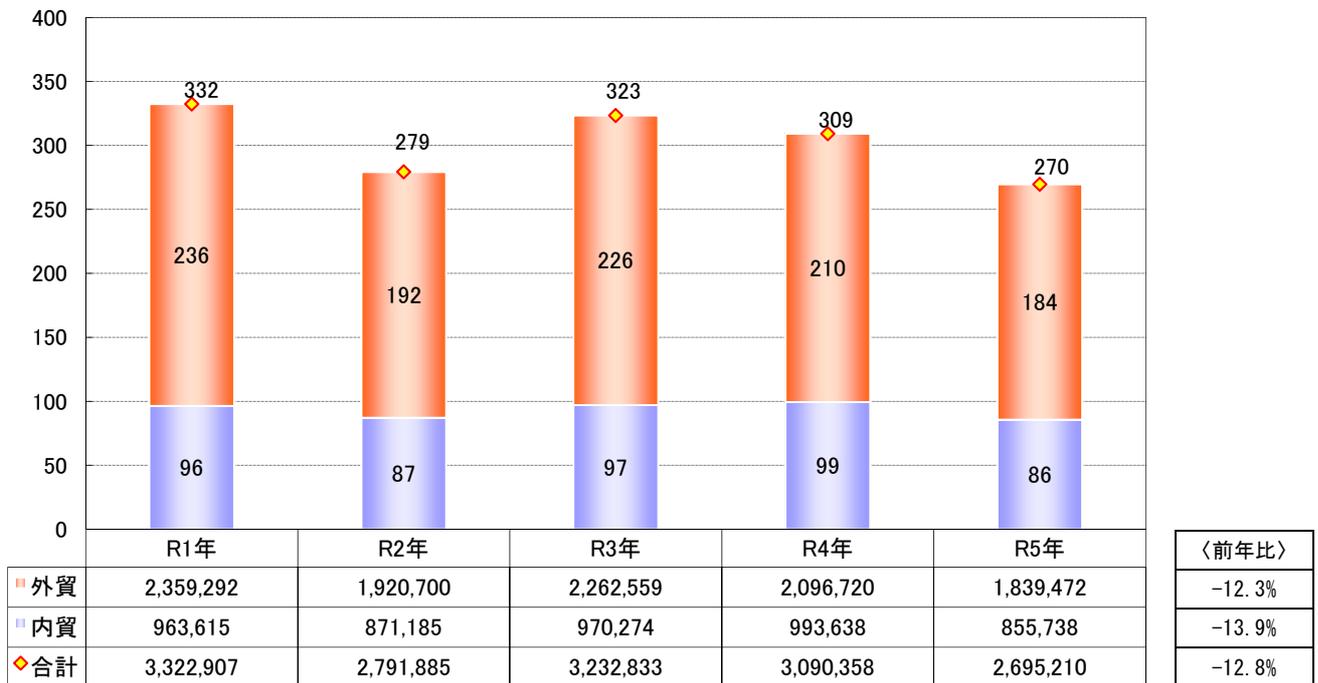


表1 主要品種別の貨物量の推移

品 種	R1	R2	R3	R4	R5	割合	前年比 R5/R4
石炭	1,804,036	1,449,986	1,783,713	1,706,517	1,487,795	55.2%	-12.8%
揮発油及び その他の石油	367,731	330,869	326,517	311,503	293,087	10.9%	-5.9%
窯業品	176,837	131,619	188,847	198,058	151,973	5.6%	-23.3%
セメント	113,211	143,345	118,547	128,627	122,798	4.6%	-4.5%
木材チップ及び 薪炭	130,510	106,153	121,566	112,287	96,612	3.6%	-14.0%
その他	730,582	629,913	693,643	633,366	542,945	20.1%	-14.3%
合計	3,322,907	2,791,885	3,232,833	3,090,358	2,695,210	100.0%	-12.8%

(単位：トン)

※ 「揮発油」及び「その他の石油」は、平成29年までの「石油製品」が、平成30年度から細分化された品種であるが、前年までとの比較のため、本資料では2つの品種を合算して計上した。

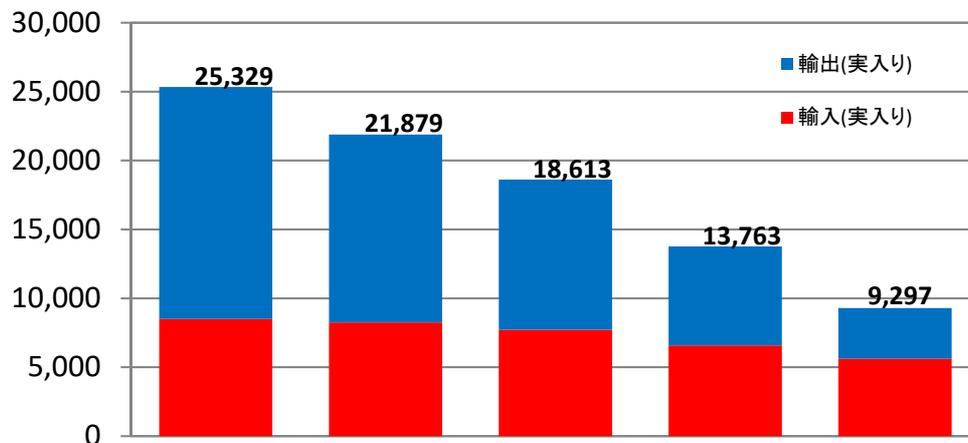
令和5年コンテナ貨物量の概要

コンテナ貨物量（実入りコンテナ）については、グラフ2のとおり、輸出が3,675TEU（前年比-48.8%）、輸入が5,622TEU（前年比-14.5%）、輸出入合計が9,297TEU（前年比-32.4%）となった（コンテナ取扱個数（空コンテナ込み）については、【参考】のとおり）。

品種別では、表2のとおり、輸出量上位5品種では「その他製造工業品」、「自動車部品」、「原木」が増加し、「その他日用品」、「再利用資材」が減少した。輸入量上位5品種では「木製品」、「豆類」が増加し、「化学薬品」、「製造食品」、「自動車部品」が減少した。

グラフ2 過去5年間のコンテナ貨物量の推移

（単位：TEU）



（単位：TEU）

種別	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	〈前年比〉	
実入りコンテナ	輸出	16,823	13,634	10,897	7,184	3,675	-48.8%
	輸入	8,506	8,245	7,716	6,579	5,622	-14.5%
	合計	25,329	21,879	18,613	13,763	9,297	-32.4%

【参考】

種別	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	〈前年比〉	
空コンテナ	輸移出	3,458	4,864	4,395	4,424	3,321	-24.9%
	輸移入	12,313	9,275	7,938	3,843	1,643	-57.2%
空コンテナ込合計	41,100	36,018	30,946	22,030	14,261	-35.3%	

表2 主要品種別のコンテナ貨物量の推移

（単位：TEU）

品 種	輸 出						品 種	輸 入					
	R1	R2	R3	R4	R5	前年比 R5/R4		R1	R2	R3	R4	R5	前年比 R5/R4
その他日用品	14,400	11,488	8,990	5,545	2,059	-62.9%	木製品	909	894	1,048	924	1,035	+12.0%
その他製造工業品	437	328	299	250	282	+12.8%	化学薬品	629	655	716	733	724	-1.2%
再利用資材	554	390	410	254	238	-6.3%	製造食品	968	927	906	627	613	-2.2%
自動車部品	276	264	297	192	196	+2.1%	自動車部品	497	599	629	622	482	-22.5%
原木	0	36	64	0	191	-	豆類	768	541	559	323	330	+2.2%
その他	1,156	1,128	837	943	709	-24.8%	その他	4,735	4,629	3,858	3,350	2,438	-27.2%
合 計	16,823	13,634	10,897	7,184	3,675	-48.8%	合 計	8,506	8,245	7,716	6,579	5,622	-14.5%

※四捨五入の関係上、内訳項目を合計したものが、合計と一致しない場合がある。

令和5年リサイクル貨物量の概要

リサイクル貨物量については、グラフ3のとおり、合計で335,147トン（前年比-21.0%）であった。

リサイクルポートに指定された平成15年の196,821トンと比較すると、約1.7倍となっている。

品目別では、表3のとおり、主要品目全てにおいて前年比で減少した。

グラフ3 リサイクル貨物量の推移

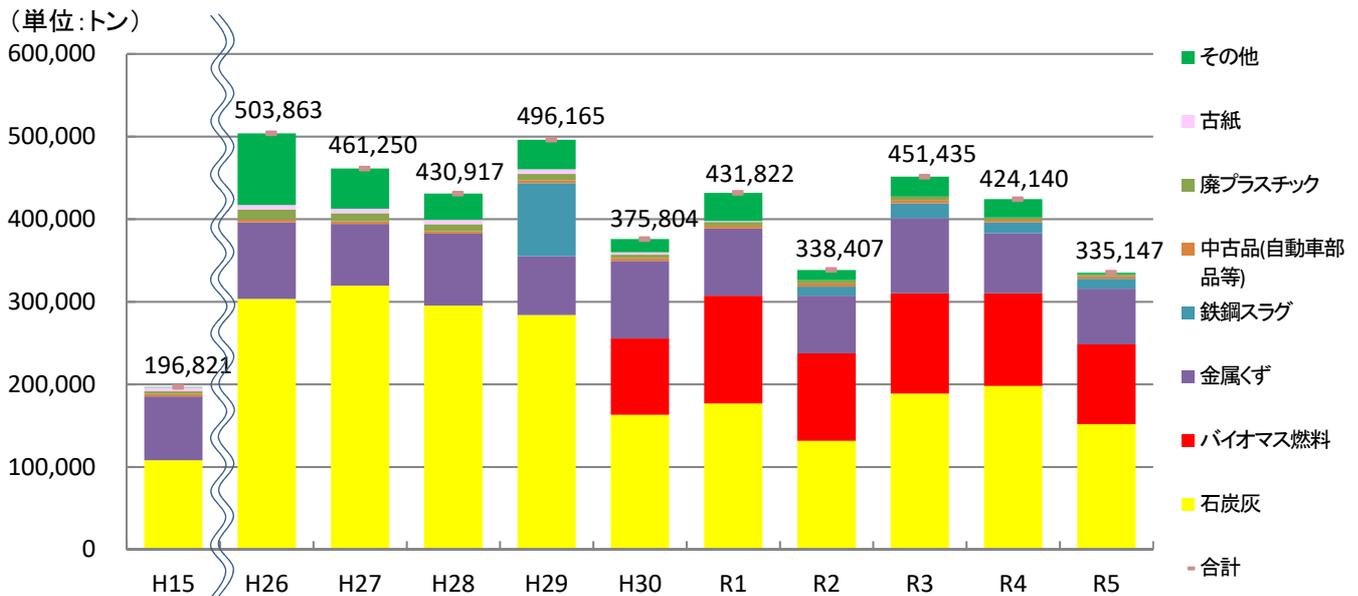


表3 主要品目別のリサイクル貨物量の推移

(単位:トン)

主要品目	H15	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	前年比
石炭灰	107,963	303,490	319,513	295,305	283,834	163,094	176,811	131,581	188,800	198,037	151,774	-23.4%
バイオマス燃料	0	0	0	0	0	92,335	130,454	105,837	121,450	112,194	96,512	-14.0%
金属くず	77,430	92,709	74,657	87,188	71,360	93,968	81,283	69,873	90,884	72,626	67,417	-7.2%
鉄鋼スラグ	0	0	0	0	88,375	0	0	11,000	18,060	13,360	12,130	-9.2%
中古品(自動車部品等)	2,948	3,636	3,420	3,142	3,601	3,766	3,626	3,940	4,030	3,160	3,040	-3.8%
廃プラスチック	3,260	11,876	9,658	8,180	7,500	3,720	4,320	3,840	4,100	2,540	2,380	-6.3%
古紙	4,560	5,340	5,360	5,200	5,580	2,860	1,220	0	0	0	0	-
その他※	660	86,812	48,642	31,902	35,915	16,061	34,108	12,336	24,111	22,223	1,894	-91.5%
合計	196,821	503,863	461,250	430,917	496,165	375,804	431,822	338,407	451,435	424,140	335,147	-21.0%

※その他：廃土砂など